

ダムカードの配布について

当事務所では、平成28年9月から来訪者や見学者に建設中のダムカードを配布しています。ダムに関する広報の一環として、様々な情報を提供すると共に、ダムを訪れることにより、ダムの理解・促進を図るために配布するものです。

配布場所、配布日時は、錦川総合開発事務所及び平瀬ダム建設工事共同企業体事務所にて、土、日、祝日および12/29～1/3を除く9時から17時まで配布しています。

※ダムカードとは

…国土交通省と水資源機構の管理するダムで、ダムのことをより知っていただくこと、「ダムカード」を作成し、平成19年度の「森と湖に親しむ旬間」（7月21日～31日）中より、ダムを訪問した方のみ配布している簡易型のパンフレットです。カードの大きさや掲載する情報項目などは、全国で統一したものにしておき、おもて面は、ダムの写真、うら面は、ダムの形式や貯水池の容量、ダムを建設したときの技術、といった基本的な情報からちょっとマニアックな情報までを凝縮して載せています。



DAM-DATA

所在地：山口県岩国市
 河川名：錦川水系錦川
 型式：重力式コンクリートダム
 ゲート：コンジットラジアルゲート×2門
 選択取水設備 連続サイフォン式
 増高・増頂長：73.0m・300.0m
 総貯水容量：2,950万m³
 事業者：山口県
 本ダムの完成予定：2014年/2021年

みほん

本ダムの本体部は、2.0mピッチホウヤ30t 25tガンフック等の大型機械を使用し、約10か月かけて約39万m³の量で完成した。基礎岩盤から50cmの範囲は仕上げとして、打設前に岩盤に亀裂が発生しないよう人力で丁寧に整える。

こだわり技術

ダムでは、堤体上部から岩盤状況を確認しながら河床部へと掘削を進めるため、堤体上部付近の岩盤は、掘削からコンクリート打設までに2年以上期間が空く場合があり、この間の風化による岩盤の劣化や崩落等を防ぐため、堤体部にモルタル吹付けを実施している。モルタルを取り除いた後に仕上げを行い、岩盤を再確認してから打設する。

平成28年度 山口県優良建設工事表彰について

山口県では、県内建設業者の施工技術の向上及び工事の適正な施工の確保等を目的として、優良な工事を表彰しています。

平成28年度の表彰において、当事務所からは、下記の工事が選定されました。

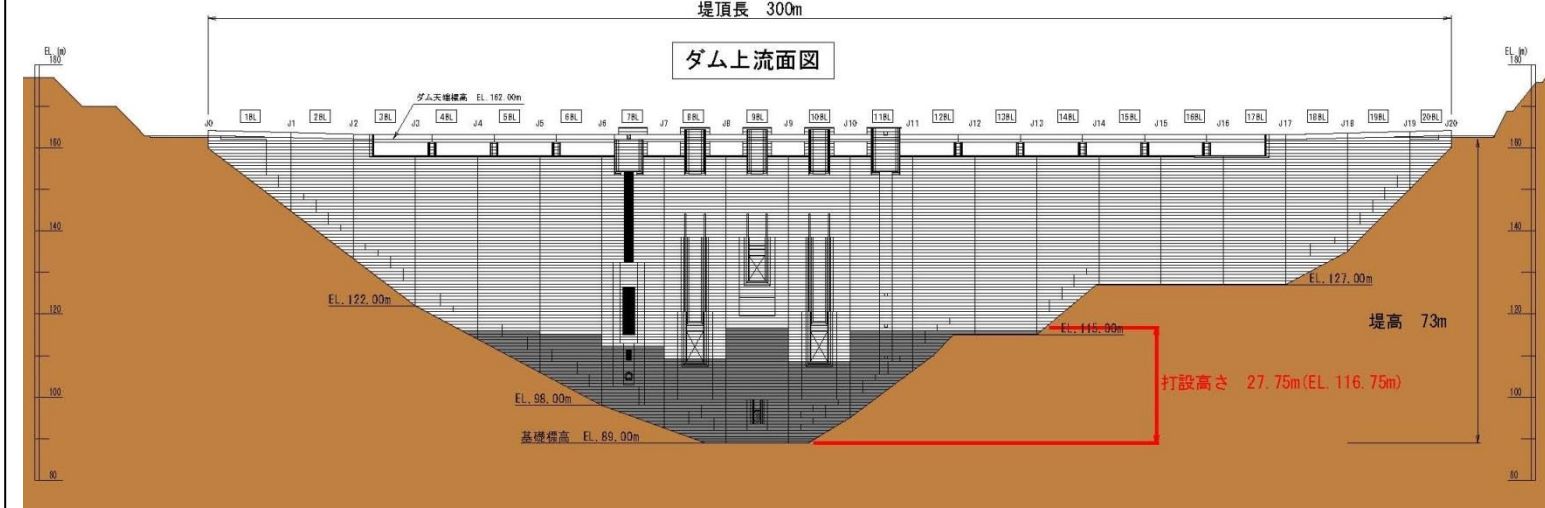
工事名	施行者
錦川総合開発事業 旧市道宇津・平瀬線付替道路 足瀬橋架設工事（上部工）	宇部興産機械・新光産業 特定建設工事共同企業体 （宇部市）



堤体コンクリート打設状況（平成29年1月末現在）

打設高さ 27.75m 打設量 9万7千m³ 進捗率 29%

堤頂長 300m



平瀬ダム 10万³m 打設



取水放流設備について

【常用洪水吐き(コンジットゲート)】

常用洪水吐き開口部 幅4.1m×高さ4.2m×2門
 主ゲート形式：摺動式高圧ラジアルゲート
 純径間 4.1m×有効高 4.2m×2門

修理用ゲート形式：高圧スライドゲート
 純径間 4.1m×有効高 7.275m×2門

- ・ダムは、大雨による洪水を一時的に貯めて、下流の安全を確保しています。主ゲートは、平時は閉まっておりダムに水を貯めています。洪水時は、ダムに流れ込む水量の一部を貯めて、下流河川が流下可能な水量に調節しながら、下流へ放流します。
- ・修理用ゲートは、主ゲートを点検する際に降ろして使用します。
- ・ゲートは、現地で全体を確認できないため、工場で仮組を行い検査します。

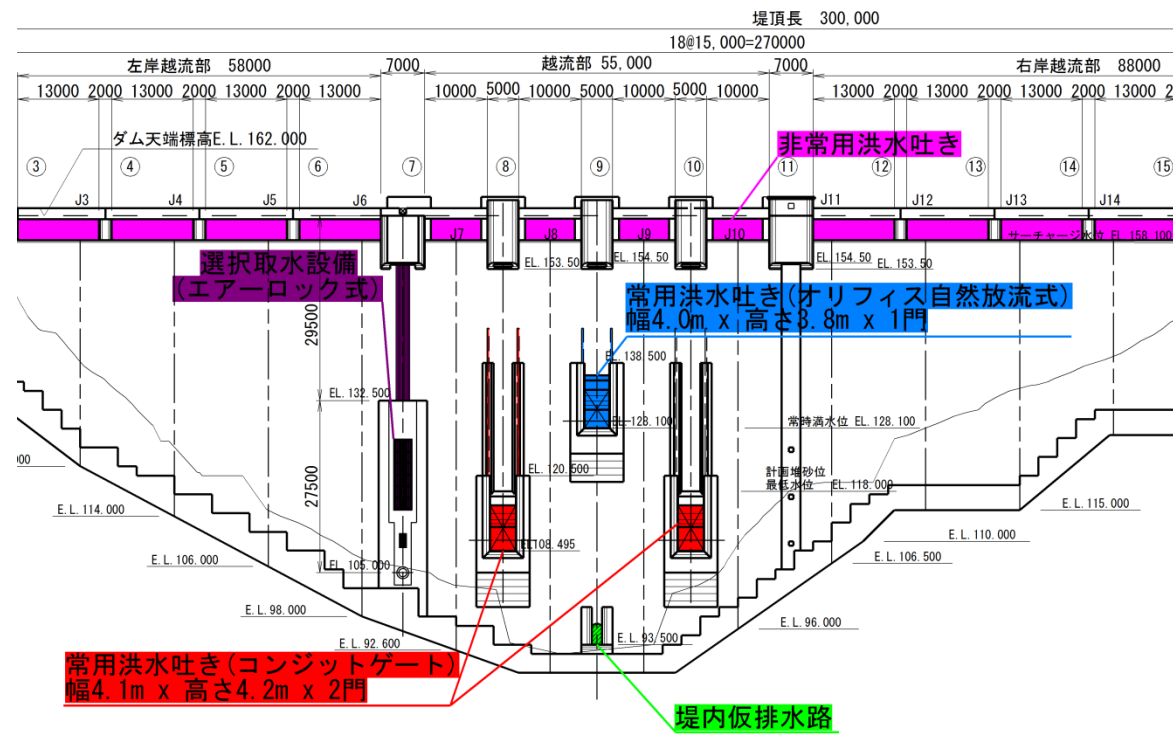


主ゲート



主ゲート

上流面図



常用洪水吐き(コンジットゲート)
 幅4.1m x 高さ4.2m x 2門

堤内仮排水路



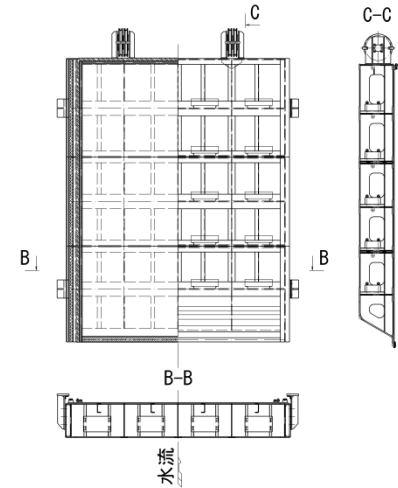
↑上流から下流へ向かって撮影

←左岸天端から堤体下部へ向かって撮影

【常用洪水吐き(オリフィス自然放流式)】

常用洪水吐き開口部 幅4.0m×高さ3.8m×1門
 調節ゲート形式：スライドゲート
 純径間 4.0m×有効高 6.1m×1門

- ・常用洪水吐きは、四角形の開口部構造になっており、開口部に入る水は自然に下流へ流れます。
- ・ダム完成後、ダムの安全性を確認するため満水にします(試験湛水)。調節ゲートは、その際に開口部を閉めるために使用します。



調節ゲート構造図

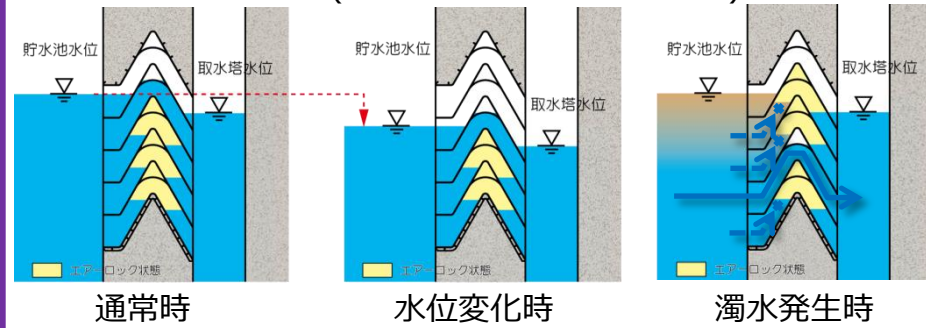
【選採取水設備(エアロック式)】

型式：連続サイホン式取水設備 選採取水用6段
 有効幅 2.7m×呑口高 1.82m

型式：連続サイホン式取水設備 底部取水用1段
 有効幅 0.8m×呑口高 1.82m

- ・ダムに貯まっている水は、平時に下流へ流して、生態系・動植物の保全、かんがい用、発電用に使用されます。水面近くの水は温かく、底の方は冷たい水が貯まります。洪水時は水面近くの水が濁り、時間の経過とともに下方へ沈降します。
- ・選採取水設備は、貯水池の変化に合わせて、任意の水深より取水し下流へ放流します。

エアロック式(空気により止水を行う方式)模式図



【非常用洪水吐き】

- ・堤体上部に洪水をあふれさせる越流式です。
- ・試験湛水時には、越流する状況を見ることができます。

【堤内仮排水路】

- ・ダム建設中は、堤体下部に仮排水路があり、上流締切内からの水を流しながら工事をします。また、仮排水路は転流工閉塞時に河川を下流に流すために使用します。
- ・試験湛水前に仮排水路の入口をゲートで閉め、仮排水路を閉塞しダムに水を貯めます。